平成 29 年度　園長だより NO. 4　【H29.5.24】

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（ 文責／園長 石川照代 ）

気分は「トレジャーハンター」

タイトルを一目見て、「子どものネタだな」と思った方は、残念！「トレジャーハンター」とは私、園長石川のことであります。

これまでにも、ここ、附属幼稚園でゲットした宝はいろいろありますが、最近見つけたのは、園長室の本立てにあった十年前の「研究紀要」、その年の研究の足跡を記した冊子です。

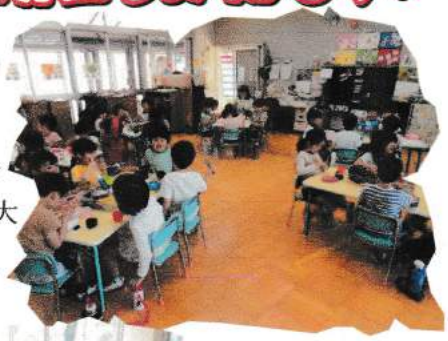
大学の藤田敦先生の講評記録の中に、数学者の秋山仁先生の文章の引用がありました。「数学をこなす能力とは、大体次の四つのことをこなせる能力と考えれば良いと思う。その四つとは、『辞書が引ける』『自分の靴が下駄箱にしまえる』『カレーライスが作れる』『地図がかける』である。」

カレーライス？私は、一瞬にして頭がアクティブになり、どういう意味か知りたくてたまらなくなりました。藤田先生は、「（秋山先生の）話の要点は、数学を学ぶために必要な能力の基礎は、普段通りの日常の生活体験の中で十分に培われるという考え方にあります。」とし、「子どもたちの日常の体験がより楽しく豊かなものになるように工夫していくことこそが、知的発達を促す環境設定の重要なポイントになるのではないでしょうか。」と結んでいます。これは、来て間もない私でもすぐに気づくほど大切にしている「附属幼稚園の保育そのもの」だと思いました。「附属幼稚園ってすごい！」・・・これが、私の手にした「お宝」の正体です。私が、秋山先生の話の全てを知るために、即座に「四谷ラウンド」という、今は倒産したらしい出版社の、「中学生の教科書」という本をネットで探して手に入れたのは言うまでもありません。

附属幼稚園には、まだまだたくさんの「お宝」が眠っていそうです。トレジャーハンター石川は、これからもお宝を発見し、惜しげもなく読者に公表していこうと思います。

おいしいお弁当をありがとう！

○お弁当づくりお疲れ様です。
○みんなで楽しく食べるのが、大切なめあてです。



○完食はうれしいことですが、あまり一喜一憂せず、作ることを楽しむ気持ちでお願いしますね！

自分の命は自分でまもる

～火事を想定した避難訓練しました！～

５月１６日（火）今年度初めての避難訓練をしました。いづれは、いざという時、**自分で自分の命を守る判断ができる子**に育てなければなりません。今回は、初めて訓練に参加する子がいることもあり、事前指導を丁寧にして、比較的スムーズに全員が避難できました。今後は、地震や津波を想定した訓練、不審者侵入を想定した訓練、また保護者への引き渡し訓練などをしていきます。家庭でもその都度話題にして下さると、効果がアップします！